
Legend of Mana sword ~ After life ~

サバイブ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Legend of Manna sword ~ After life ~

【Nコード】

N4269K

【作者名】

サバイブ

【あらすじ】

神獣が滅し、聖剣は再び伝説となり、世界に平和が戻った……。聖剣を元に戻す旅を終えた、ランディとプリム。そして、神獣の消滅とともにきえてしまったポイ。二人は悲しみに暮れながらも、それをあらたな強さにして、今の日々を生きる…。

プロローグ（前書き）

ドモドモ、サバイブです。

久しぶりにやってみた、聖剣伝説2が面白く、この本編の後日談を書いていきたいなあと思い、執筆を始めました。

設定が曖昧な所があり、見苦しい点があるかと思いますが、あたたく見守ってやってください。

ブローグ

「あんちゃん!!」

「ランディ!!」

僕を呼ぶ二つの声に、ドラゴンバスター聖剣を神獣となつたフラミーに構えたまま、振り返る。そこには、一緒に苦難を乗り越えてきた仲間が居た。

「これが最後のマナよ、ランディ!!」

龍の爪のようなグローブを嵌めた少女、プリム。

勝ち気で心の優しい彼女には、いつも助けられてばかりだ。もし、僕がこの聖剣を抜いたりしなければ、彼女の恋人、ディラックは死なずに済んだのかも知れない。

「一発でキメろよな、あんちゃん!!」

異国の武器、手裏剣を握る妖精の子、ポポイ。

きかんぼうでやんちゃな性格で、ポポイがいるとどんな場所でも楽しくないことなんてなかった。でも、この一撃で僕が神獣を倒してしまうと、ポポイは消えてしまう。

「プリム……ポポイ……」

だが、迷つてはいられない。

大事な二人の仲間、そして、世界の人々を守るために、戦わなくてはならない。

だから、僕は――。

『ドリアート!!』

——光の中で……

——ポポイが笑った気がした……

「……ん……うう……」

気がついたら、僕は白い大地に寝そべっていた。すぐ隣にはプリムもいる。まだ、気を失っている見たいだ。

「……ポポイ……？」

辺りを見回して、もう一人の仲間を探したが、その小さな姿はどこにも見当たらない。

もう、消えてしまったのだろうか。

神獣は全てのマナを司る、その名の通り、神の獣。そして、妖精はそのマナを源として存在している。つまり、神獣を倒すということの意味するのは、ポポイの死。

「……ポポイ！ポポイ！もう消えちゃったのかよ！？」

最悪の現実に、胸が苦しくなる。

先に居なくなるなんて、ヒドいじゃないか……。

まだ言うことが、たくさんあったのに——。

「おチビちゃん、いなくなっちゃったのね……」

いつの間にか、起きていたプリムが哀しげに呟いた。
でも僕は、それを認めたくはなかった。

「まだきつと、どこかにいるさ。落ちたときにはぐれちゃったただだよ」

プリムは顔をあげて、そう言う僕を見つめる。僕も笑いながら、彼女を見つめ返す。鼻の奥が、ツンとした。

やがて、彼女はいつもの勝ち気な笑みではない、穏やかな微笑みを浮かべた。その目には、涙が滲んでいる。

「そうよね……だってまだ、お別れも言っていないもの。言うまで消えてもらっちゃ困るわ」

でも、やっぱり言っていることは相変わらずだった。

僕は、懸命に笑顔を保つ。

気を緩めれば、涙が溢れそうだった。

でも、まだ泣いちゃいけない。

「そっだよ……」

今、泣いたら認めてしまうから。

それに、僕は信じてる。

例えば、ポポイが消えてしまっても、僕たちの中で永遠に生き続ける。僕たちが忘れない限り、あの子の存在は消えないのだ。

「……！これは……」

そこに、白い雪のようなものが空から舞い降りてきた。手の平を差し出してみると、それは溶けることなく手の中に在り続けた。

「神獣の破片が、雪となって降ってるんだね……」

プリムの言葉に、僕は頷いた。

僕たちは、この崖から世界を見渡すことができた。

——冒険は、終わったのだ。

「帰ろう、プリム……」

みんなのところへ。

僕たちの、世界へ——。

世界に雪が降る。ランディとプリムの涙が溶け込んだ、神秘の雪が降る……。

その時、一人の妖精が消え、聖剣は再び伝説となり、

木が、動物が、人間が救われた。

これでよかったんだろうか…。

よかったんだとポポイが笑う。

でも…きっと、いつか、どこかで、

また会えるよね、ポポイ…。

プロローグ（後書き）

ありがとうございました！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4269k/>

Legend of Mana sword ~ After life ~

2010年10月10日00時38分発行